

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：家畜保健衛生費

事業名 家畜伝染病検査体制整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 家畜防疫対策課 防疫指導係 電話番号：058-272-1111(内4160)

E-mail：c11449@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,969 千円 (前年度予算額： 14,924 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	14,924	4,420	0	0	0	0	0	0	10,504
要求額	5,969	0	0	0	0	0	0	0	5,969
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

・県の家畜保健衛生所では、各種の家畜疾病の診断を行うために、様々な検査機器を保有しているが、家畜伝染病予防法施行規則の改正に伴い、都道府県における家畜防疫体制の強化が求められており、検査機器の更新や増設が必要となっている。

・家畜疾病の診断を正確かつ迅速に行い、家畜防疫体制の維持・強化を図るには、検査機器の新規整備や更新を計画的に行っていく必要がある。

(2) 事業内容

家畜保健衛生所で使用する検査機器の整備・更新を計画的に行う。

(3) 県負担・補助率の考え方
県10/10

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	5,969	検査機器の新規導入・更新経費
合計	5,969	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2023～2027）
 - 2 健やかで安らかな地域づくり
 - (2) 安らかに暮らせる地域
 - ⑥ 災害と危機事案に強い岐阜県づくり
- ・「ぎふ農業活性化基本計画」（R8～12）（仮称・令和8年3月策定予定）
 - 基本方針4 安心できる農畜水産業と農村の環境整備
 - 4 生産を脅かすリスクへの対応
 - ① 家畜伝染病に対応できる畜産産地づくり

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

家畜伝染病の検査体制の整備により、迅速、正確な診断をし、防疫体制を維持する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

家畜疾病の診断で使用する検査機器を新規整備・更新するものであり、指標を設定することは適当でない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	中濃家畜保健衛生所に微量高速冷却遠心機を導入した。 機器を導入することで、病性鑑定の高度化及び正確性を図ることができた。
令和5年度	消費・安全対策交付金の交付率が低かったことにより、予定していた機器の導入をとりやめた。
令和6年度	中央家畜保健衛生所に高速冷却遠心機、東濃家畜保健衛生所にシステム生物顕微鏡を導入した。 機器を導入することで、病性鑑定の高度化及び正確性を図ることができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

3

家畜保健衛生所における家畜疾病診断で使用する検査機器の整備・更新を行う事業であり必要性は高い。

- 3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

3

家畜疾病の検査精度が向上し、検査の信頼性の確保につながる。

- 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

2

最新機器の導入により、正確かつ迅速な検査が可能となっている。

(今後の課題)

- 家畜伝染病予防法施行規則の改正に伴い、都道府県における家畜防疫体制の強化が求められており、機器の更新や増設が必要となっている。

(次年度の方向性)

- 家畜伝染病の検査体制の維持・強化を図るためには、検査機器の整備・更新が必要であり、計画的に実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる実施する理由 や期待する効果 など	